

## 平成 31 年度 県民の環境活動支援事業

## ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」実施報告書 (5)

## 第 5 回「里山の色々な姿を学ぶ」

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」 第 5 回「都市近郊の里山保全活動」 実習①：むつみの森見学 実習②：里山・竹の会の森見学 実習③：草深の森見学
日時	令和元年 11 月 3 日 (日) 10:00~16:00
会場	むつみの森、里山・竹の会の森、草深の森
出席者	受講生 14 名 (8 市) ・講師 4 名、スタッフ 1 名
内容	9:50~10:40 実習①：「むつみの森」見学 むつみの森 事務局長 山崎 典昭 10:50~11:40 実習②：「里山・竹の会の森」見学 里山・竹の会の森 会長 横尾 裕巳 11:50~12:30 昼食 13:00~15:00 実習③：「草深の森」見学 森林インストラクター 広島 真知子 15:00~ まとめ、勝田台駅、千葉駅までバス乗車
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 5 回里山カレッジは、八千代市北部、印西市南部に広がる 3 つの樹林地を観察・見学した。</li> <li>・受講生は千葉駅、勝田台駅からバス乗車し、最初の見学地「むつみの森」へ到着した。</li> <li>・森を整備する「里山むつみ隊」は八千代市主催の「里山ボランティア人材育成講座」の修了者が中心となってボランティア団体を発足し、2012 年 3 月に借り上げた民有地を整備に入った。活動は月 2 回。</li> <li>・「むつみの森」は台風 15 号、19 号による被害の跡が残り、針葉樹、広葉樹が中折れ状態、根こそぎ倒木し、1.7ha の森林にも容赦なく風雨が吹き荒れた様子が感じられた。</li> <li>・むつみの森でリストアップした草本類 74 種 (環境省レッドデータブック絶滅危惧種Ⅱ類 2 種、千葉県要保護生物 5 種) と木本類 83 種 (八千代市減少種 7 種) は大事に保護されている。</li> <li>・次の「里山・竹の会」が整備する「熱田の森」(1.5ha) では台風の影響で入れないところもあり、森の一部を見た後に倒木の整理作業を見学した。</li> <li>・5 本のスギが倒木し、折り重なった状態のうち一番上をチルホール、滑車、ワイヤーロープでけん引し引き倒し、玉切り処理を行った。</li> <li>・昼食時には里山・竹の会から豚汁、煮物、漬物を特別提供いただき、満腹に加え充実した気分になれた。</li> <li>・昼食後に、「里山・竹の会」の皆さんとの間で以下の質疑が交わされた。</li> <li>・「森の整備で一番大事なのは何？」⇒「安全三か条を掲げて声を掛け合いながら作業を遂行すること」</li> </ul>

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・「年間計画はいつの時点で検討するのか」⇒「毎年3月に開く総会で検討した計画を決定する。それまでに森のデザインを協議し、プラン、企画を検討する」</li><li>・3つ目の「草深の森」は森林インストラクターの広島真知子さんの案内で見学した。</li><li>・草深の森は印西市が12名の土地所有者と契約を結び、1997（平成9）年から林内整備をはじめ、同時に一般に開放されている。</li><li>・広島さんによると、2004（平成16）年から行っている植物調査で500種が確認されたようだ。冷涼な地域を好むモミ、クロウメモドキが実生繁殖し、一方ではツリガネニンジン、アザミなど草原のような環境を好む植物の生育し、多様な植物が息づいている。</li><li>・希少なハシバミ、ヌルデミミフシが生育している様子も観察した。</li><li>・都市近郊で起こっている現象で、危惧されるのは、住宅地に植栽された庭木等に起因する帰化植物の森内への侵入だ。森の生態系を考えると、注意したい点だと指摘した。</li></ul> |
|---|

添付資料（写真）



むつみの森で



台風の影響痛々しく・むつみの森



切り出した材でビオネスト・むつみの森



実生のイヌガヤ・むつみの森



台風による倒木の処理・里山・竹の会



丸太切り処理・里山・竹の会



全員集合・里山・竹の会



受講生からの質問に答える里山・竹の会の会員



溝腐れを説明する広島講師・草深の森



モミの球果を見せる広島講師・草深の森



希少なハシバミの実・草深の森



ヌルデミミフシ・草深の森